

「お客さま本位の業務運営」の取組状況について

当行は、「お客さま本位の業務運営」を全うするため、商品・サービスの向上に取り組み、その取り組み状況を定期的に公表し、見直しをすることとしています。これを踏まえ、当行は「お客さま本位の業務運営」の定着状況を確認するための成果指標(KPI)を、以下のとおり設定し、公表いたします。

1. お客さま本位の徹底

研修等を通じ、役職員に対して「取組方針」「対応方針」に基づく判断・行動の徹底を行っています。

【「お客さま本位の業務運営」に関する研修】の実施状況

実施年月	実施回数	参加者のべ人数
令和2年4月～令和3年3月	17回	490名
令和3年4月～令和4年3月	19回	558名
令和4年4月～令和5年3月	17回	690名

2. お客様への情報提供およびコンサルティングの実践

お客様の知識・経験・財産の状況および投資目的に照らして、また、お客様のライフステージや属性等を踏まえ、ニーズに沿った商品のご提案をまいります

■投資信託販売上位10銘柄の推移

順位	令和3年3月期			令和4年3月期			令和5年3月期		
	銘柄	決算回数	投資対象	銘柄	決算回数	投資対象	銘柄	決算回数	投資対象
1	ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	2	海外株式	ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	2	海外株式	AIM 新G分散 22-07	1	国内海外株式、債券
2	世界インフラ戦略ファンド	2	海外株式	フード＆テクノロジー関連株式ファンド	2	海外株式	ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	2	海外株式
3	クリーンテック株式ファンド	2	海外株式	株式インデックスファンド 225	1	国内株式	DIAM 日経 225 ノーロードオープン	1	国内株式
4	次世代通信関連世界株式戦略ファンド	1	海外株式	DIAM 日経 225 ノーロードオープン	1	国内株式	株式インデックスファンド 225	1	国内株式
5	ダイワ US-REIT オープン B コース (為替ヘッジなし)	12	海外 リート	ダイワ US-REIT オープン B コース (為替ヘッジなし)	12	海外 リート	ダイワ US-REIT オープン B コース (為替ヘッジなし)	12	海外 リート
6	株式インデックスファンド 225	1	国内株式	ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配提示型)	12	海外株式	日興 NASDAQ100	1	海外株式
7	ロボット・テクノロジー 関連株ファンド	2	海外株式	ロボット・テクノロジー 関連株ファンド	2	海外株式	日興 IDX NY ダウ 30	1	海外株式
8	DIAM 日経 225 ノーロードオープン	1	国内株式	ベイリー・ギフォード インパクト投資ファンド	1	海外株式	ダイワ J-REIT オープン	4	国内 リート
9	ダイワ J-REIT オープン	4	国内 リート	次世代通信関連世界株式戦略ファンド	1	海外株式	ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配提示型)	12	海外株式
10	MYAM 米中小成長株	2	海外株式	世界インフラ戦略ファンド	2	海外株式	トラッカー研究所米国株式 ファンド	2	海外株式

■個人向け生命保険一時払い保険の販売推移

年度	販売額(単位:億円)
令和3年3月期	66
令和4年3月期	37
令和5年3月期	88

■個人向け生命保険平準払い保険の販売推移

年度	販売件数(単位:件)
令和3年3月期	267
令和4年3月期	497
令和5年3月期	565

市場動向が大きく変化した場合等、相場見通しや商品の運用状況をはじめ、お客さまの投資判断に必要な情報をご提供する等、丁寧なアフターフォローを行っています。

■投資信託アフターフォローの実施状況

実施年月	対象件数	実施件数
令和2年4月～令和3年3月	11,240	10,766
令和3年4月～令和4年3月	10,348	10,094
令和4年4月～令和5年3月	12,694	11,798

- 定例アフターフォローは、年2回高齢者のお客さま、一定以上の含み損を抱えているお客さまを対象に実施しています。相場急変時の対応として、基準価格前日比△5%の場合、緊急フォローを実施しています。

■生命保険アフターフォローの実施状況

実施年月	対象件数	実施件数
令和2年4月～令和3年3月	3,579	3,525
令和3年4月～令和4年3月	3,632	3,596
令和4年4月～令和5年3月	2,047	2,013

定例アフターフォローは、年1回高齢者のお客さまと、保険申込後3年間のお客さまを対象に実施しています。

3. 高度の専門性と職業倫理の保持

各種研修の開催やFP(ファイナンシャルプランナー)といった外部専門資格の取得奨励等を通じ、役職員の質的向上を図るとともに、商品や投資環境に関する知識・スキルの強化を図り、プロフェッショナルとしての専門性を高めてまいります。

■FP(ファイナンシャルプランナー)資格保有者数

基準日	行員数	CFP	FP1級保有者数	FP2級保有者数	FP1・2級保有者率
令和5年3月31日	1,341名	1名	7名	677名	51%

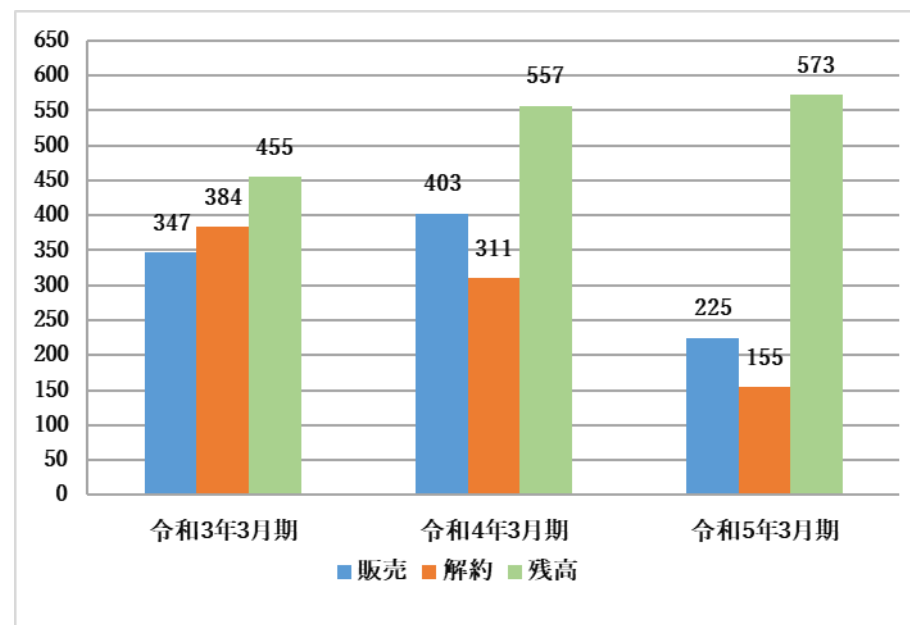
4. お客様本位の取組みに適合した業績評価体系

お客様のご意向や目的に合致する総合的なご提案をするため、特定の運用商品の販売に偏らない業績評価体系を導入しています。中長期的な投資継続提案により、お客様の最善の利益を追求する体制を引き続き構築してまいります。

■投資信託の販売・解約・残高推移(単位:億円)

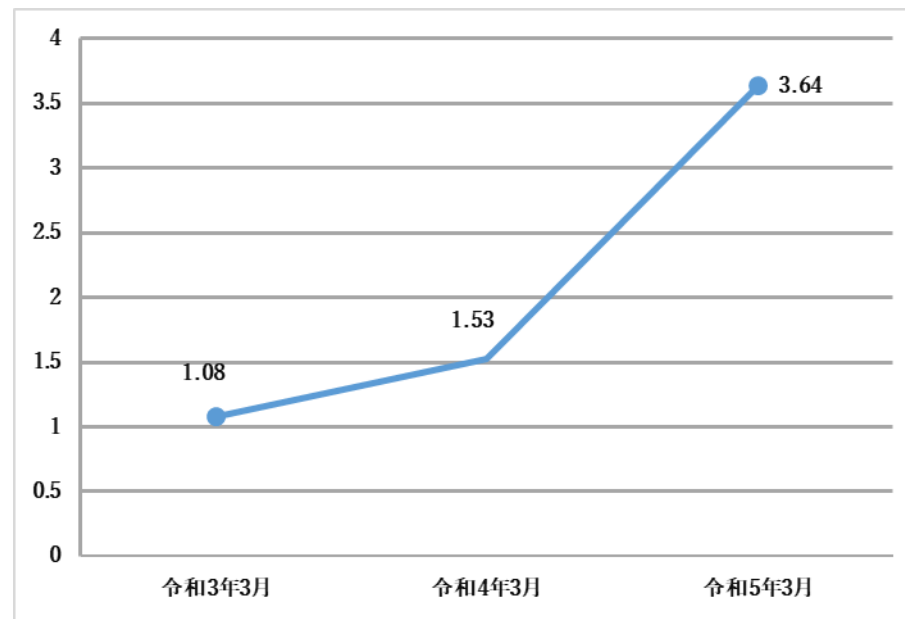
年度	販売	解約	残高
令和3年3月期	347	384	455
令和4年3月期	403	311	557
令和5年3月期	225	155	573

(億円)



■投資信託平均保有期間推移

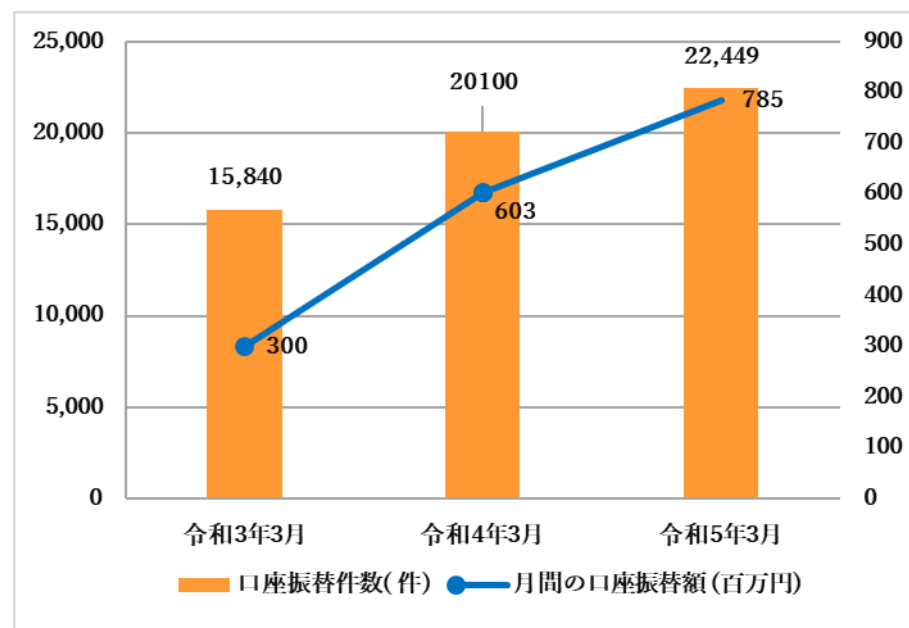
年月	平均保有期間
令和3年3月	1.08年
令和4年3月	1.53年
令和5年3月	3.64年



■積立投信契約状況の推移

年月	口座振替件数(件)	月間の口座振替額(百万円)
令和3年3月	15,840	300
令和4年3月	20,100	603
令和5年3月	22,449	785

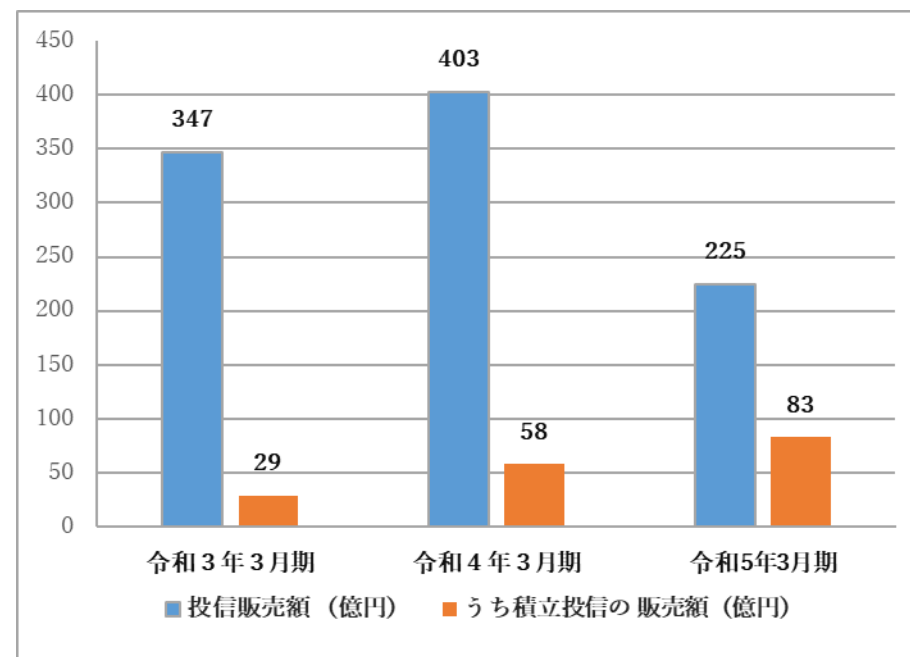
(件)



■投資信託販売に占める積立投信の割合

年度	投信販売額 (億円)	うち積立投信の 販売額(億円)	構成比率 (%)
令和3年3月期	347	29	8.35
令和4年3月期	403	58	14.39
令和5年3月期	225	83	36.8

(億円)



5. 投資教育への取組み

お客さまの金融に関する知識向上のため、投資啓発パンフレット等の活用、お客さま向けセミナーの開催等による情報提供を随時行ってまいります。また、WEB開催での取組も実施しております。

■お客さま向けセミナー実施と参加人数

実施年月	実施回数	参加人数
令和2年4月～令和3年3月	8	39
令和3年4月～令和4年3月	5	21
令和4年4月～令和5年3月	9	353

6. 多様なニーズにお応えする商品ラインナップの整備

お客様の投資目的や関心の高い投資分野に合わせて、お客様に適切な商品を選択いただけるように、商品ラインナップを整備し、既存商品の見直しも行っています。また、必要に応じて外部評価機関等の評価を活用しながら、お客様の運用ニーズに資する商品・サービスを選定してまいります。

■投資信託・生命保険ラインナップ（令和5年3月末時点）

○投資信託ラインナップ

分類		商品数
国内	債券	1
	株式	7
	REIT	3
海外	債券	4
	株式	30
	REIT	3
バランス型		11
合計		59
うちネット専用		9
うちノーロード		8
つみたてNISA		5

○生命保険ラインナップ

<一時払い>

分類		商品数
円建て	定額・年金	2
	変額・年金	0
	定額・終身	5
	変額・終身	0
合計		7
外貨建て	定額・年金	4
	変額・年金	0
	定額・終身	5
	変額・終身	0
	変額・その他	0
合計		9
総合計		16

<平準払い>

分類	商品数
外貨建・定額・年金	3
円建・定額・年金	2
外貨建・定額・終身	0
円建・定額・終身	3
定期	1
収入保障	1
医療	9
がん	3
就業不能保障	1
合計	23

※法人向け保険を除く

- ・お客様が投資を検討するうえで、重要な事項である、リスク・リターン・コスト、商品毎の投資目的や適合する投資性向について、重要情報シートを全ての投資信託、外貨建一時払い生命保険商品、ファンドラップに導入し、より分かりやすい比較検討ツールをご提供いたします。
- ・仕組債の販売は、現在行っておりません。
- ・お客様の多様なニーズやライフプランに最適なお提案を行うために、専門的な知識を有する行員を配置した、「ひめぎん保険プラザ」を令和5年4月

に開設。専用商品も取りそろえ、幅広いお客様にご相談いただけるよう努めております。

- ・相場分析にAIを活用し、最適な投資配分を行う「ひめぎんラップ/ROBO PRO AIラップ」を令和5年4月より取扱い開始。投資資産をお任せで運用できる商品としてご提供しています。

7. 利益相反管理

- ・利益相反の恐れがある取引をあらかじめ特定し、具体的な管理方法を定めること等により、適切な管理を行ってまいります。また、利益相反の具体的内容等については分かりやすい情報提供を行う等、利益相反管理の高度化に取り組んでまいります。
- ・利益相反管理徹底のため、「お客さま本位の業務運営」に関する研修を通じて、利益相反の恐れがある取引や具体的な管理方法等を行員に対して、引き続き徹底してまいります。
- ・当行では、特定の投資信託や生命保険の販売により、商品提供会社から委託手数料等の支払いを受けたり、推奨販売を行っていません。

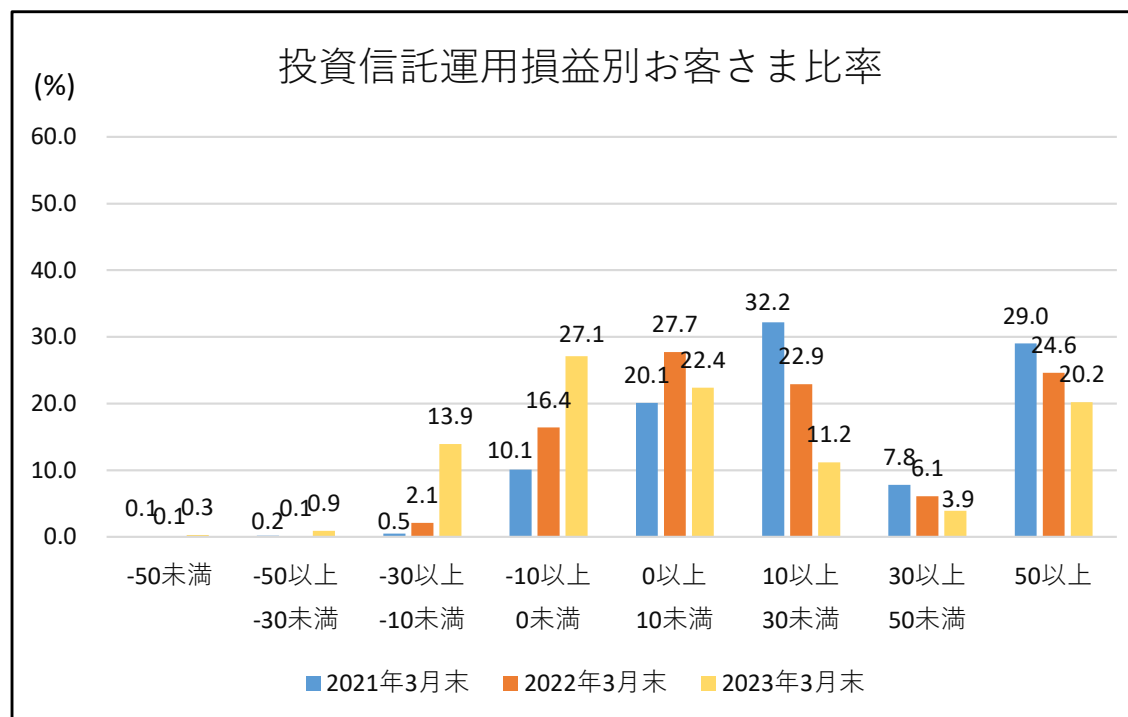
当行の利益相反管理はこちら <https://www.himegin.co.jp/policy/privacy/riekisouhan.html> をご覧ください

以上

投資信託運用損益別お客さま比率（共通K P I）

（過去3年分）

顧客別比率	割合（％）								合計
	- 50未満	- 50以上 - 30未満	- 30以上 - 10未満	- 10以上 0未満	0以上 10未満	10以上 30未満	30以上 50未満	50以上	
2021年3月末	0.1	0.2	0.5	10.1	20.1	32.2	7.8	29.0	100
2022年3月末	0.1	0.1	2.1	16.4	27.7	22.9	6.1	24.6	100
2023年3月末	0.3	0.9	13.9	27.1	22.4	11.2	3.9	20.2	100

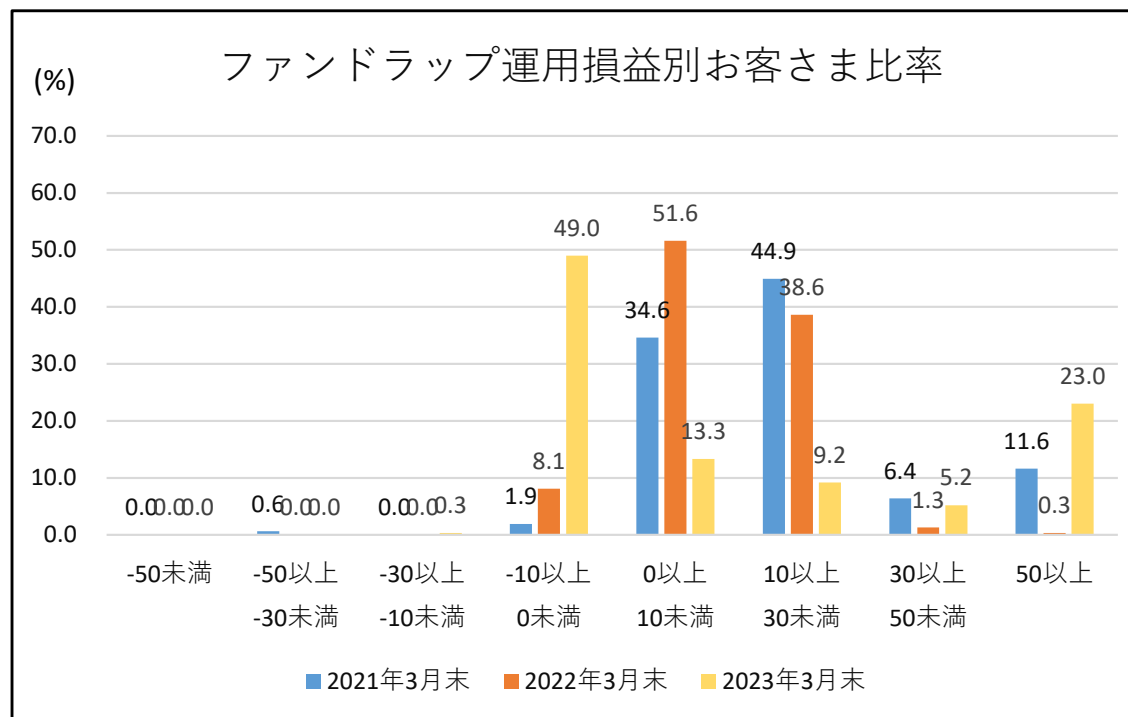


ファンドラップ運用損益別お客さま比率（共通K P I）

（過去3年分）

割合（％）

顧客別比率	- 50未満	- 50以上 - 30未満	- 30以上 - 10未満	- 10以上 0未満	0以上 10未満	10以上 30未満	30以上 50未満	50以上	合計
2021年3月末	0.0	0.6	0.0	1.9	34.6	44.9	6.4	11.6	100
2022年3月末	0.0	0.0	0.0	8.1	51.6	38.6	1.3	0.3	100
2023年3月末	0.0	0.0	0.3	49.0	13.3	9.2	5.2	23.0	100

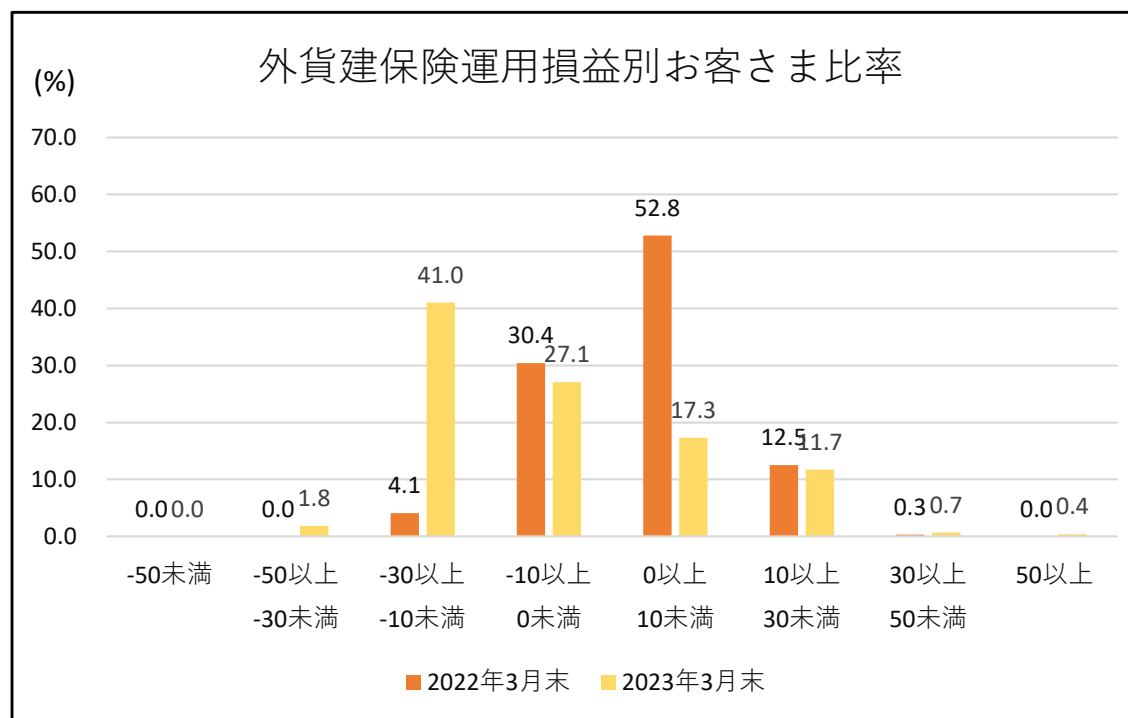


外貨建保険運用損益別お客さま比率（共通K P I）

（過去2年分）

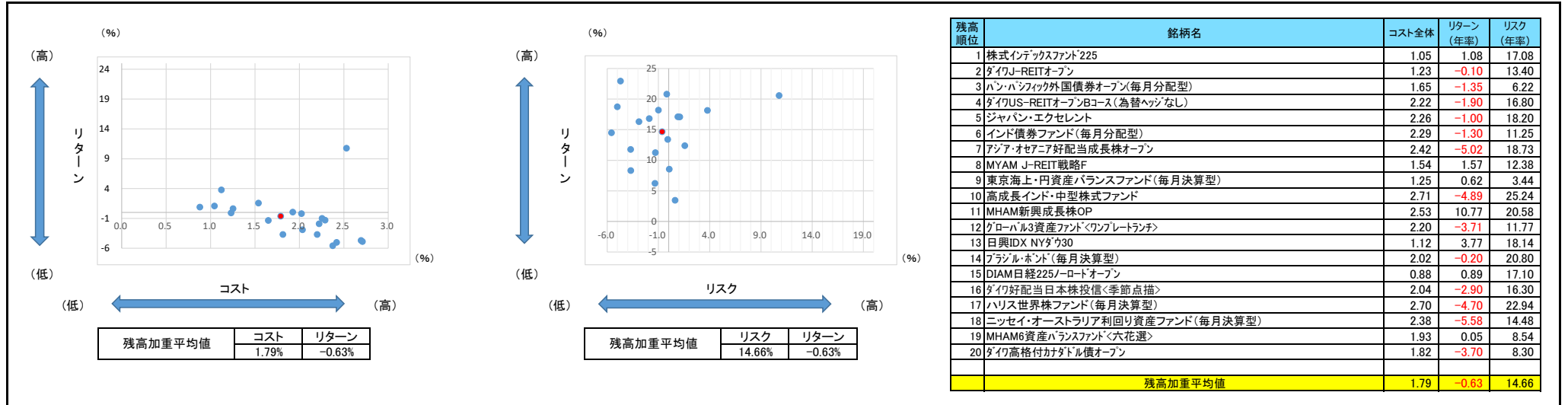
割合（％）

顧客別比率	- 50未満	- 50以上 - 30未満	- 30以上 - 10未満	- 10以上 0未満	0以上 10未満	10以上 30未満	30以上 50未満	50以上	合計
2022年3月末	0.0	0.0	4.1	30.4	52.8	12.5	0.3	0.0	100
2023年3月末	0.0	1.8	41.0	27.1	17.3	11.7	0.7	0.4	100

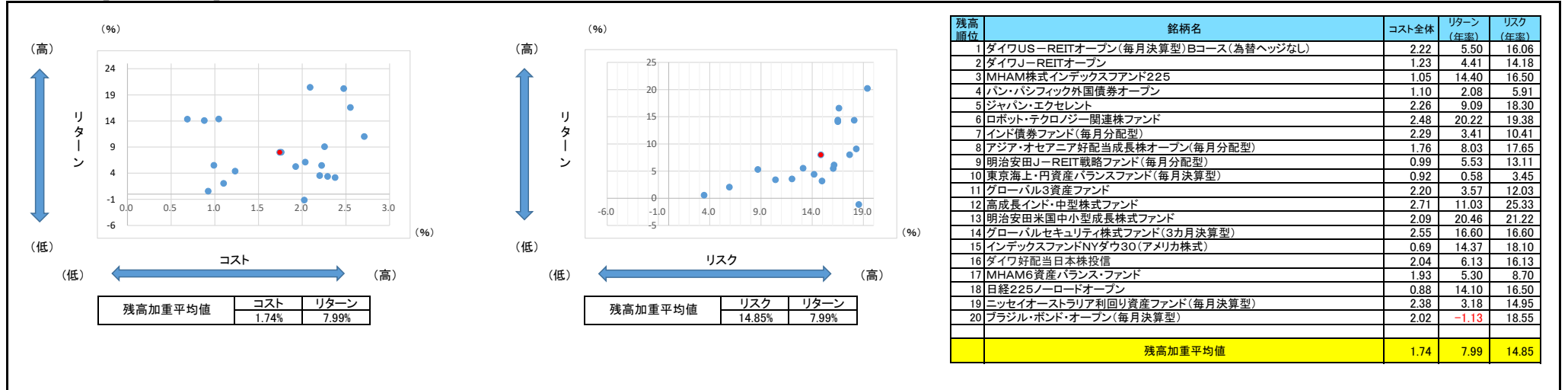


投資信託の預り資産残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン(共通KPI)

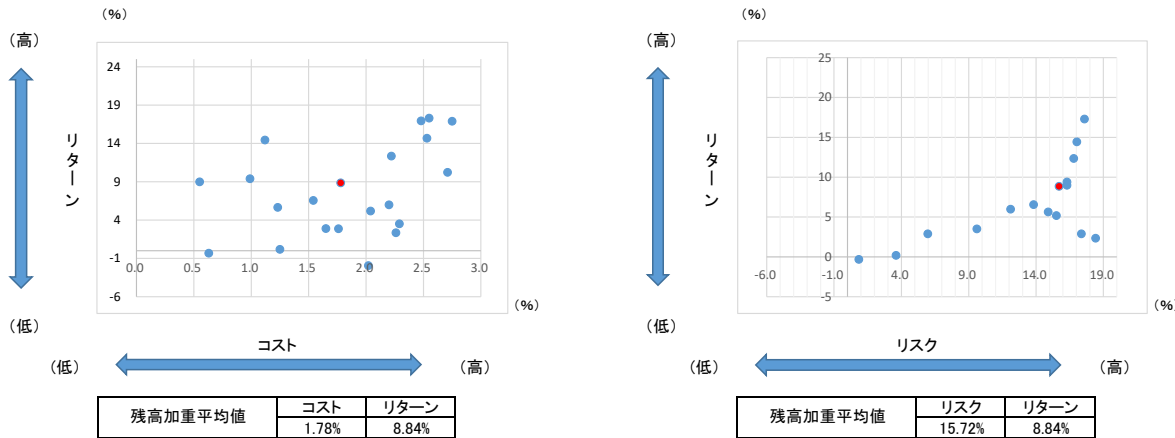
【2020年3月末】



【2021年3月末】

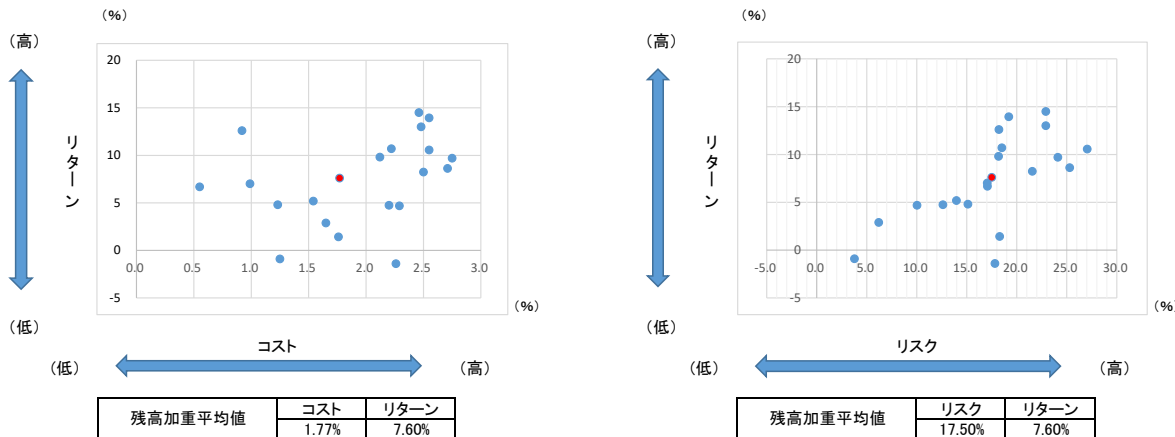


【2022年3月末】



残高順位	銘柄名	コスト全体	リターン(年率)	リスク(年率)
1	ダイウス-REITオープンコース(為替ヘッジなし)	2.22	12.36	16.80
2	株式インデックスファンド225	0.99	9.40	16.30
3	ダイウJ-REITオープン	1.23	5.66	14.90
4	ロボット・テクノロジー関連株ファンド(ロボテック)	2.48	16.96	20.71
5	ハン・ハシフィック外国債券オープン(毎月分配型)	1.65	2.90	5.96
6	MYAM J-REIT戦略F	1.54	6.57	13.81
7	ジャパン・エクセレント	2.26	2.36	18.42
8	インド債券ファンド(毎月分配型)	2.29	3.53	9.60
9	アジア・オセアニア好配当成長株オープン	1.76	2.89	17.37
10	日興IDX NYダウ30	1.12	14.45	17.02
11	グローバル・セキュリティ株式ファンド(3ヵ月決算型)	2.55	17.30	17.60
12	MYAM米中小成長株	2.75	16.91	22.33
13	高成長インド・中型株式ファンド	2.71	10.24	25.07
14	DIAM日経225ノードオープン	0.55	9.00	16.30
15	グローバル3資産ファンド(クワレトランチ)	2.20	5.99	12.11
16	東京海上・円資産バランスファンド(毎月決算型)	1.25	0.20	3.60
17	MHAM新興成長株OP	2.53	14.70	23.50
18	ダイウ好配当日本株投信<季節点描>	2.04	5.19	15.51
19	ジャパン・アソシアティブ	0.63	-0.30	0.83
20	アラビアン・ボンド(毎月決算型)	2.02	-1.93	20.09
残高加重平均値		1.78	8.84	15.72

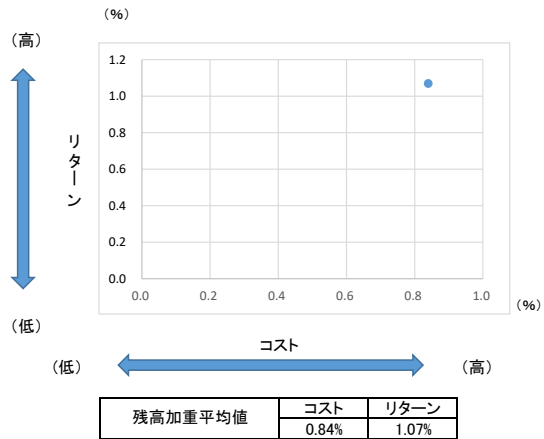
【2023年3月末】



残高順位	銘柄名	コスト全体	リターン(年率)	リスク(年率)
1	MHAMインデックス225	0.99	7.02	17.04
2	ダイウス-REIT OP B	2.22	10.70	18.50
3	ダイウJ-REITオープン	1.23	4.80	15.10
4	ロボテック	2.48	13.00	22.90
5	SMT 次通信世界株	2.50	8.24	21.54
6	ハン・ハシフィック外債OP	1.65	2.89	6.19
7	日興IDX NYダウ30	0.92	12.61	18.21
8	ダイウ JPNエクセレント	2.26	-1.40	17.80
9	MYAM J-REIT戦略F	1.54	5.19	13.96
10	SMAM成長印中型株	2.71	8.62	25.28
11	MYAM米中小成長株	2.75	9.70	24.09
12	SMAMインド債F毎	2.29	4.69	10.02
13	Gセキュリティ株3月	2.55	13.94	19.19
14	岡三アジアオセアニアOP	1.76	1.42	18.29
15	DIAM日経225ノード	0.55	6.68	17.06
16	SMAM G3資産F	2.20	4.75	12.61
17	TMAM円資産バランスファンド	1.25	-0.90	3.76
18	安田セルケト日本株式ファンド	2.12	9.81	18.17
19	グローバル・モビリティ・サービス株式ファンド	2.55	10.56	27.04
20	グローバルIoT関連株ファンド	2.46	14.50	22.90
残高加重平均値		1.77	7.60	17.50

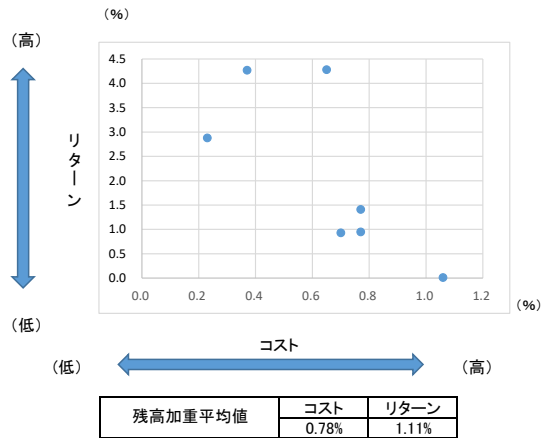
外貨建保険残高上位20銘柄のコスト・リターン(共通KPI)

【2022年3月末】



残高順位	銘柄名	コスト全体	リターン(年率)
1	ロングドリームGOLD	0.84	1.07
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
残高加重平均値		0.84	1.07

【2023年3月末】



残高順位	銘柄名	コスト全体	リターン(年率)
1	ロングドリームGOLD	0.70	0.93
2	夢のプレゼント	0.65	4.28
3	アテナ	0.23	2.88
4	アテナ2	0.37	4.27
5	しあわせ、ずっと	0.77	0.95
6	たのしみ、ずっと	0.77	1.41
7	えがお、ひろがる	1.06	0.01
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
残高加重平均値		0.78	1.11